

あおり未来チャット(9)

マイホーム建てるならどこ?どんな家にする?

りっちゃん
青森。自然がたくさんあるから。木目調を活かした暖かい家になりたい♥

柴やん
オレも自然に囲まれた青森。庭付き3階建てで1人1部屋あって、雪対策も考えた家になりたい

みやちゃん
わたしはその時決めたい。木の匂いがする落ち着いた家になりたいな

コバ
子どもが広々遊べて、日当たりも良くて、家族で幸せに暮らせる家になりたい。

あらっち
都会暮らしに憧れがあるし、利便性考えると今は都会かなー。駐車場がある二階建ての家がいい!

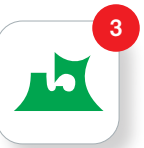
ゆうくん
仕事場が県外だと思うから、多分県外。天井が高くて壁の色が暖かい木造の家

さくちゃん
わたしは青森。あんまり思いつかないけど、自然光をたくさん取り込める広い窓がある家がいい♥

あずあず
青森なら自然もありつつ生活に不自由のない程度のところがいい。夏涼しくて冬暖かい、オシャレで部屋数が多い家になりたい

やま
建てること考えたら青森の方が都会より安く良い条件で建てられると思う。理想は1人1部屋あって、広い浴槽がある家!

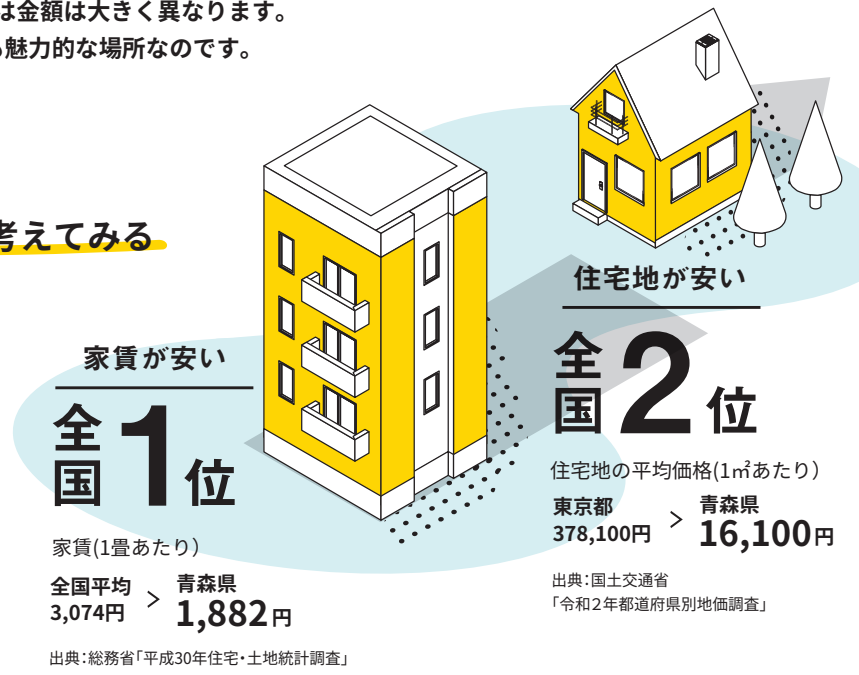
いつかは夢のマイホーム…。それ青森じゃ夢じゃない。



「衣・食・住」は生活の基本。中でも「住」は生活費の中で最も大きな割合を占める固定費。しかも同じ広さ・間取りでも、東京と青森では金額は大きく異なります。そんな住環境の面で見ても、青森県はとても魅力的な場所なのです。

収入－支出＝生活のゆとり そんな視点で住みたい場所を考えてみる

「住居費」の目安は一般的には手取り収入の30%以内と言われています。とはいえ家賃の高い都市部や、まだ収入があまり多くない若いうちは、手取り1/3以内の家賃で部屋を探すのは難しいケースも。仮に都会で地方より多くの収入を得られたとしても、その分かかるお金が多くなれば生活の余裕はなくなります。そんな視点で見ると、全国一家賃の安い青森県は魅力的。さらに将来マイホームを考える時も、土地が安い青森県なら、都会より安い費用で広い家が建てられます。大切なのはあくまで収支のバランス。ゆとりある生活を考えるなら住居費の安い青森県がおすすめです。



青森県と東京圏の収支差額はほぼ一緒!?

東京圏での生活の方が余裕があると思っているその君。実は収入と支出のバランスは青森県とあまり変わらないんです。

収入		支出		収支差額
※世帯ごとの可処分所得※月額		※世帯ごとの消費支出合計		
青森県	340,994円	260,726円	衣食住関係90,003円 水道光熱費等69,760円 日用品・趣味関係27,343円	青森県 約8万円
東京圏	420,317円	331,083円	衣食住関係115,953円 水道光熱費等72,267円 日用品・趣味関係43,710円	東京圏 約8万9千円
			保健医療9,392円 教育11,422円 その他消費支出52,808円	
			保健医療12,589円 教育25,880円 その他消費支出60,687円	

出典:総務省「平成26年度全国消費実態調査」※東京圏・・・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県。上記数値は1都3県の平均値から算出。
※消費支出の内訳については、食料・住居・被服及び履物をまとめて「衣食住関係」として合算する等の処理を行っている。
※金額は表示単位に四捨五入してあるので、内訳の計は必ずしも一致しない。

MEMO
